

岩手県技術士会 部会活動報告

活動名	平成21年度岩手県技術士会研修会 (CPD番号 21 14)
主催	岩手県技術士会研修常任委員会
日時	平成21年11月20日(金) 18:30 ~ 20:30
場所	盛岡おでって
参加人数等	16人

活動内容

件名：企業におけるBCP計画について

講師：平井 公康 氏（総合技術監理部門、建設部門）

宮城建設（株） 取締役 技術部長

講演の概要

自然災害など、予期せぬ事態が発生した時、企業活動を早期に復旧させるための仕組みづくりであるBCP（事業継続計画。Business Continuity Plan）について、実際の経験事例を基に講演をしていただいた。参加者からは、操業における数値的最低レベルの取り決めや被害調査の確認方法などさまざまな角度からの意見等が述べられ、非常に有意義な研修であった。

1) 災害に向けた体制確立（BCPの策定）

BCPとは、東北管内におけるBCP策定状況、現状と分析、宮城県沖地震への課題の把握、問題の把握（模式図）、対応策、等

2) 災害時の迅速な支援で社会貢献・最終報告書（案）、（東北建設業協会連合会）について

役割と課題、災害対策支援隊の創設、情報の共有化、災害対応に向けた会員企業の体制確立、行政機関の指示重複時の対応、災害対策支援活動の契約のあり方、初期活動時・パトロール時の労災保険のあり方、情報提供及びマスコミ対応、協定書の見直し、等

3) 宮城県沖を事例にBCPを策定してみましよう。

影響度評価、被害想定、重要な要素の抽出、事業継続計画の策定、事業継続と共に求められるもの、実施および運用、教育・訓練の実施、点検等

（その他参考：技術士会全国大会（仙台）使用資料・企業防災の向上）



《出口 記》